



黒見 久美子 議員

脱炭素社会の実現について

問 廃棄物の資源として、ごみや水質汚染の原因となる廃油の活用が期待される。①脱炭素社会への取り組みと、②持続可能な航空燃料SAFの原料などに活用できる家庭用廃食油の回収について、所見と課題を伺う。

答 ①事業所向けに省エネルギー診断に関する補助金を設け、リユースカップ導入の支援を行った。また、温室効果ガス削減

のため、各庁舎の照明のLED化等を進めている。②家庭から出る廃食用油は、現在のSAF製造における主要な原料であり、循環可能な資源エネルギーとして回収し、再利用することは有効な手段である。一方、回収拠点の設置や運営コストの精査、安定した回収量の確保や品質管理などの課題がある。



廃食用油のリサイクルイメージ (杉並区)

ケアラー支援条例制定について

問 ケアラーとは精神や障がい、

高齢など、援助を必要とする家族などに日常的に世話をを行う人のことであり、ケアラーに対しての支援が必要である。現状把握とケアラー支援条例制定について、所見と課題を伺う。

答 市ではケアラーの正確な人数や世帯数は把握していないが、さまざまな福祉分野の窓口でのケアラーからの個別相談を通して、家庭状況や実態を把握している。条例を制定し、取り組みを進める自治体が増えていることは認識している。今後、条例の制定を検討する場合、既存の事業との整合性をどのように図るかが課題になる。条例の必要性や実効性を多角的に検討し、市民にとって真に有効なものとなるよう議論を進める。

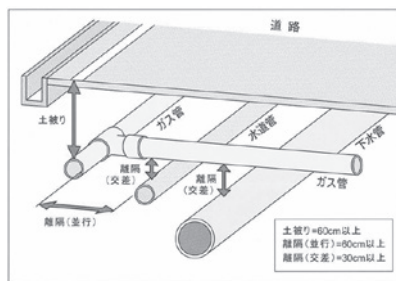


佐藤 稔 議員

「下水道管等の管理」について

問 八潮市の道路陥没事故を受けて、国は施行規則を改正し、自治体に管理状況の報告を求めているが、市の対応を伺う。

答 法に基づき道路占用者に対し、安全性の確保について適切に指導する。八潮市の事故を教訓として、国、県、地域社会全体で総合的な安全対策を進め、市民の安全・安心を最優先とした維持管理に全力で取り組む。



地下埋設管のイメージ図 (引用元：株式会社協振技建)

「公共施設の防犯対策」について

問 学校施設や生涯学習施設等、不特定多数の方々が出入りする施設の、防犯対策の現状と課題について伺う。

答 市内各小中学校や指定管理導入施設において、危機管理マニュアルを整備し、不審者対応の徹底を図っている。利用者の安全確保のため、防犯カメラの増設、職員の防犯意識向上等が

課題である。

「粗大ごみ収集依頼のオンライン化」について

問 市民生活の利便性向上のために、行政手続きのオンライン化が進められている。現在窓口申請のみとなっている、「粗大ごみ収集依頼のオンライン化」についても、早急な推進が求められるが、市の考えを伺う。

答 現在、既存システムを活用した電子申請を検討している。導入した場合、時間外のオンライン申請が増加し、収集希望日の殺到で、希望どおりに収集できないことが想定される。実際の運用面での調整や委託業者への適切な収集指示、手数料の徴収等が課題として認識している。